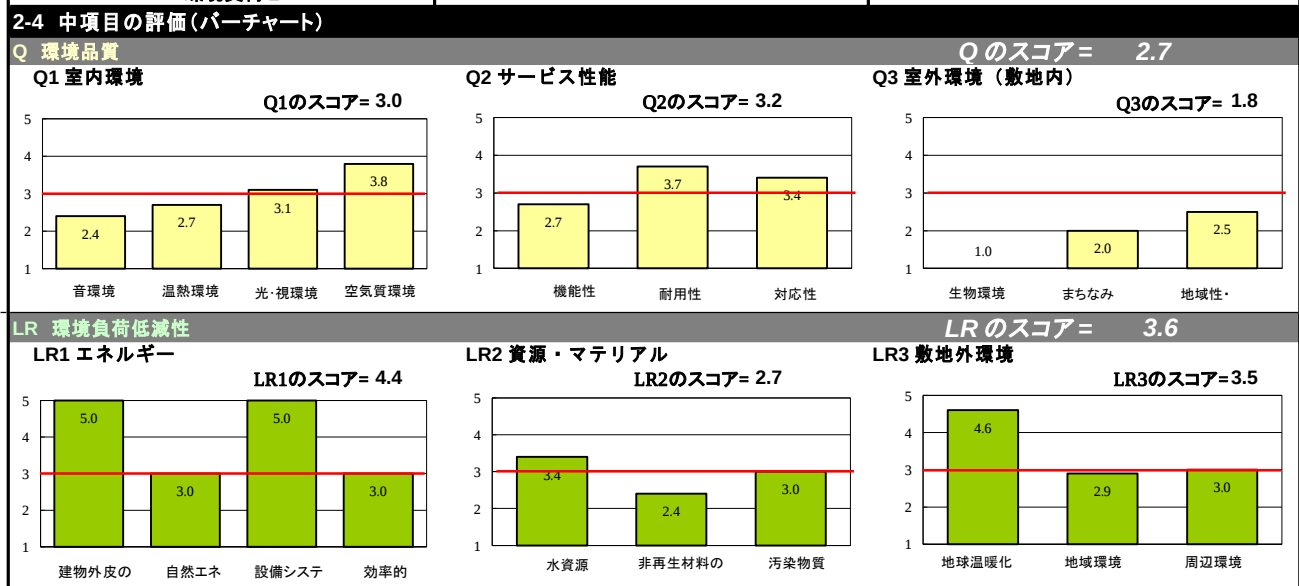
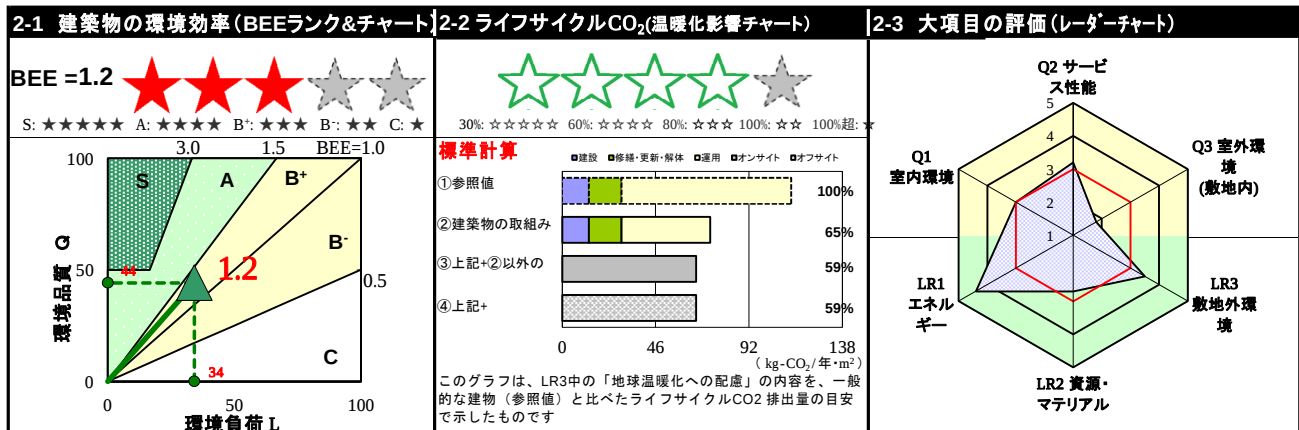


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	三館等合同施設	階数	地上2F
建設地	大阪府貝塚市堀、東、福田	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域	平均居住人員	583 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,190 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,集会所,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年9月 予定	評価の実施日	2025年3月6日
敷地面積	2,854 m ²	作成者	西村 裕
建築面積	1,235 m ²	確認日	2025年3月6日
延床面積	2,133 m ²	確認者	西村 裕



3 設計上の配慮事項		
総合 地上2F鉄筋コンクリート造の児童福祉施設である。 室内は利用者にとって快適な空間となるよう、十分な採光を取り入れ、空気室改善のため換気量も確保した。 建物は断熱や適切な設備機器を採用し、断熱性能の向上及びエネルギー量の削減を図った。		その他 特になし。
Q1 室内環境 複層ガラスを採用し外皮性能の向上を図った。 十分な採光が確保できるよう、開口を適切に設置し、庇やブラインドなどで屋光の制御ができる計画とした。	Q2 サービス性能 基準法の1.5倍の耐震性を確保した。 更新性に配慮し耐用年数の長い材料の採用や、室内空間にゆとりを持たせた計画とした。	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地内は駐車部分などにも緑化を施し、敷地内暑熱環境の緩和を図った。
LR1 エネルギー 断熱材や開口の断熱性能を向上しBPI: 0.58とした。 また、高効率設備を採用することでBEI: 0.45とした。	LR2 資源・マテリアル 水資源の保護のため、節水型の水栓や省水型の便器を積極的に採用した。	LR3 敷地外環境 建物のエネルギー量を抑え、ライフサイクルCO ₂ 排出率を60%とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称		三館等合同施設							
建設地		大阪府貝塚市堀、東、福田							
用途／区分		事務所 集会所							
【評価結果】	CASBEE 総合評価							B+	
①	CO2削減							5	
②	みどり・ヒート アイランド対策							2	
③	断熱性能							5	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外				評価対象外		
④	エネルギー消費性能							5	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外				評価対象外		
		非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分					6		
⑤	自然エネルギー直接利用							—	
	再生可能エネルギー	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—		—
	利用施設の導入状況	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—
	エネルギー消費量の報告							報告しない	
【評価項目】									
項目		評価内容					スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮					4.6	5	
② みどり・ヒートアイランド対策									
生物環境の保全と創出		CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出					1.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3. 2 敷地内温熱環境の向上					2.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE LR3 敷地外環 2. 2 温熱環境悪化の改善					3.0		
③ 断熱性能		CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制					5.0	5	
④ エネルギー消費性能		CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化					5.0	5	
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用					3.0	—	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。					報告する 報告しない	報告しない	
その他									
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項				
特に配慮した事項									